

授業科目名	化学Ⅰ		科目コード	409	
開講クラス	公務員 科	コース	2 年制課程	学 年	1 年
担当教員	萩原 慎太郎				
	実務経験教員（ 有 ・ 無 ） 実務経験内容				
開講時期	前期・後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	32 コマ	
1 コマ50分	必須・選択・選択必須		時 間 数	32 時間	
使 用 テキスト1	書 名	テキスト 化学			
	著 者				
	出版社	大原出版株式会社			
使 用 テキスト2	書 名	実戦問題集 化学			
	著 者				
	出版社	大原出版株式会社			
参考図書					
授業形態	講義・演習・実習・実験・その他（ ）				
＜授業の目的・目標＞ 公務員試験対策のため。					
＜授業の概要・授業方針＞ テキストを中心とした講義により基礎力を養成し、実戦問題集や自作プリントによる演習を交えながら実戦力を身に付けていく。					
＜成績基準・評価基準＞ 期末考査の結果を軸に、授業態度や課題状況などを加味しながら4段階評価（優・良・可・不可）にて評価する。					
＜使用問題集・注意事項＞ ・スタンダード問題集 自然科学					
＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞					

授業科目名		化学Ⅰ	
回	授 業 内 容		備 考
1	第1章 物質の構造	第1節 物質の分類	
2		第2節 物質の粒子	
3		第3節 元素の周期律	
4		第4節 物質の量	
5		第5節 化学結合	
6	第2章 物質の状態	第1節 物質の三態～第2節 固体の構造	
7		第3節 気体の性質	
8		第4節 溶液の性質	
9	第3章 物質の変化	第1節 化学変化とエネルギー	
10		第2節 酸と塩基の反応	
11		第3節 酸化と還元	
12		第4節 金属のイオン化傾向	
13	第4章 無機化合物	第1節 非金属元素とその化合物1	
14		第1節 非金属元素とその化合物2	
15		第2節 典型金属元素とその化合物1	
16		第2節 典型金属元素とその化合物2	
17		第3節 遷移金属元素とその化合物	
18		第4節 金属イオンの検出	
19	第5章 有機化合物	第1節 有機化合物の特徴・構造・分類	
20		第2節 脂肪族炭化水素	
21		第3節 酸素を含む有機化合物	
22		第4節 芳香族化合物	
23		第5節 高分子化合物	
24		第6節 天然高分子	
25		第7節 合成高分子	
26	第6章 生活と環境の化学	第1節 食品の化学	
27		第2節 衣料の化学	
28		第3節 染料と洗剤の化学	
29		第4節 身近な材料	
30		第5節 石油化学工業	
31		第6節 環境の化学	
32	総まとめ（実戦問題集、スタンダード問題集）		